

申込み方法は別紙

ブナの里親を探しています

「美味しい空気、美味しい水を
あなたの大切な人のために」

「大山ブナを育成する会」では、第4回「ブナの里親」を伯耆町と丸山地区の協力で「大山ガーデンプレイス上の交流の森の一角」に仮植地を設けて、『ブナの里親』づくりを計画しました。

今回もこの地で2～3年間育てた後に、当会の主催する植樹祭などの機会に自分の手で、あるいは代理の人が植えて、ブナの森づくりに役立ててもらいます。また、若木を育てることで、木や森に愛着を感じ、その大切さを理解してもらいたいのです。

会員で、5月12日（日）ブナの若木70本を移植を行います。

今回も「育てたくても苗木の管理が、場所が」、などの不安を一掃するために、3年生の若木を植えて、里親の方も成長を見守り易い場所にしました。何時までも繋がって行く「ブナの森づくり」に願いを込めて『ブナの里親』を募ります。

是非、御協力いただけますようお願い申し上げます。

☆ブナの紹介

*ブナは花が咲くのに50年、実を付けるようになるのに70年かかり、ブナの実を拾えるのは5～7年に1回巡って来る豊作の年だけです

*1本のブナ(150年生)の空気の浄化能力

75万枚の葉をつけて、1年を通じて10人位の浄化能力らしい。

1夫婦で1本植えて、それが必ず順調に成長していけば子供の分も孫の分も確保したことになります。



黒く見える床に返します



ここに植えます



前回の里親の風景



移植場所：伯耆町 大山ガーデンプレイス上



今年上の女の子 高3年生に
下の女の子 小6年生に



植えて11年
樹高 7m位



これ 樹齢150年
350年も450年も
生き続けます